

# 記入要領

別記様式第36 (第26条第6項及び第26条の2第4項関係)

整理番号 (注1)

## 許可の取消し、使用の廃止等に伴う措置の報告書

この届出を提出する日付を記入して下さい。

年 月 日

原子力規制委員会 殿

氏名 (法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

代理人が届け出る場合は、代表者の氏名と代理人の氏名を記入し、必ず委任状を添付して下さい。

〇〇建設株式会社  
代表取締役 鈴木一郎

押印は不要です

放射性同位元素等の規制に関する法律第28条第5項の規定により許可の取消し、使用の廃止等に伴い講じた措置を報告します。

報告をする者	氏名又は名称	〇〇建設株式会社
	法人にあつては、その代表者の氏名	鈴木一郎
	住所	郵便番号 ( 123-4567 ) 〇〇 都道府県 〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">本社住所</span> 電話番号 ( 0XXX-0XXX-XXXX )
許可証の年月日及び番号、法第3条の2第1項の届出をした年月日、法第3条の3第1項の届出をした年月日又は法第4条第1項の届出をした年月日 (注2)		〇〇年 〇〇月 〇〇日 届第〇-〇〇〇〇号 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">原子力規制委員会から送られて来た使用届受理書を参照して記入して下さい。</span>
工場又は事業所 販売事業所 賃貸事業所 廃棄事業所 (注3)	名称	〇〇建設株式会社・株式会社〇〇組共同企業体 △△作業所
	所在地	郵便番号 ( 123-4567 ) 〇〇 都道府県 〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">現場事務所の住所</span> 電話番号 ( 0XXX-0XXX-XXXX )
	連絡員の氏名(注4)	計測太郎 所属部課名 ( 土木部 ) 電話番号 ( 0XXX-0XXX-XXXX ) FAX番号 ( 0XXX-0XXX-XXXX ) メールアドレス ( XXX@example.com )
廃止した放射線施設の名称		(この欄は廃止された放射線施設がない場合は空白で構いません)
取消し、 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 1px;">廃止</span> の年月日 死亡、解散、分割		〇〇年 〇〇月 〇〇日 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">最後に使用した日付を記入して下さい。</span>
取消し、 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 1px;">廃止</span> の際に所有する放射性同位元素の種類及び数量(注5)		<sup>60</sup> Co:3.7MBq(認証番号㊟084 1台)
放射性同位元素に関する措置(注6)		年 月 日に届出賃貸業者であるソイルアンドロックエンジニアリング株式会社に返還した。
放射性汚染物に関する措置(注7)		表示付認証機器を認証条件に従って使用したため、汚染されたものはない。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">この文をそのまま記入して下さい。</span>
廃止措置中に監督を行った者の氏名並びに免状の種類及び番号(注8)		(この欄は廃止措置中に監督を行った者がいない場合は空白で構いません)
被ばく及び健康診断の結果の記録に関する措置(注9)		(この欄は被ばく及び健康診断の結果の記録に関する措置がない場合は空白で構いません)

- 注 1 「整理番号」 この欄には、記載しないこと。
- 2 「許可証の年月日及び番号、法第3条の2第1項の届出をした年月日、法第3条の3第1項の届出をした年月日又は法第4条第1項の届出をした年月日」 法第3条の2第1項、法第3条の3第1項又は法第4条第1項の届出の際に通知された届出番号がある場合には、当該届出番号を併せて記載すること。
- 3 「工場又は事業所  
販売所  
賃貸事業所  
廃棄事業所」 販売廃止等業者又は賃貸廃止等業者にあつては、事務上の連絡先を記載するとともに、販売所又は賃貸事業所について別記様式第5の該当する部分により記載した別紙を添えること。
- 4 「連絡員の氏名」 F A X 番号及びメールアドレスについては、可能な範囲で記載すること。
- 5 「取消し、廃止、死亡、解散、分割の際に所有する放射性同位元素の種類及び数量」 表示付認証機器については、認証番号が同じ表示付認証機器ごとに、認証番号及び台数を記載すること。
- 6 「放射性同位元素に関する措置」 措置を講じた年月日、場所、方法等を記載すること。
- 7 「放射性汚染物に関する措置」 注6の例により記載すること。ただし、表示付認証機器を認証条件に従い使用したため、放射性同位元素によつて汚染された物が発生していないと考えられる場合には、その旨を記載すること。
- 8 「廃止措置中に監督を行つた者の氏名並びに免状の種類及び番号」 免状の種類については、第1種放射線取扱主任者免状、第2種放射線取扱主任者免状、第2種放射線取扱主任者免状（一般）、第2種放射線取扱主任者免状（放射性同位元素装備機器名）若しくは第3種放射線取扱主任者免状の別又は医師、歯科医師若しくは薬剤師の別を記載し、免状の番号については、医師、歯科医師又は薬剤師の場合には、その免許証番号を記載すること。また、第26条第1項第8号ロに該当する場合にあつては、その者の有する知識及び経験について記載すること。なお、表示付認証機器廃止等使用者にあつては、記載は不要である。
- 9 「被ばく及び健康診断の結果の記録に関する措置」 引渡しを行つた年月日及び引渡し先を記載すること。なお、販売廃止等業者、賃貸廃止等業者又は表示付認証機器廃止等使用者にあつては、記載は不要である。

- 備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 この報告書の提出部数は、正本1通及び副本2通とすること。ただし、表示付認証機器廃止等使用者にあつては、1通とすること。
- 3 この報告書には、第26条第6項に規定する書類を、それらの書類の一覧表と共に添えること。ただし、表示付認証機器廃止等使用者にあつては、第26条の2第4項に規定する書類を添えること。